



## 2024年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2024年5月14日

上場会社名 エンシュウ株式会社

上場取引所 東

コード番号 6218 URL <http://www.enshu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 鈴木 敦士

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理本部長 (氏名) 大野 裕哉

TEL 053-447-2111

定時株主総会開催予定日 2024年6月26日

配当支払開始予定日

2024年6月27日

有価証券報告書提出予定日 2024年6月26日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	24,091	2.9	540	580.7	386		221	
2023年3月期	24,813	3.8	79	89.4	39		104	

(注) 包括利益 2024年3月期 538百万円 ( 27.2%) 2023年3月期 739百万円 ( 4.5%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	35.14		1.9	1.1	2.2
2023年3月期	16.60		0.9	0.1	0.3

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 百万円 2023年3月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	33,202	11,808	35.6	1,873.08
2023年3月期	34,168	11,362	33.3	1,802.26

(参考) 自己資本 2024年3月期 11,808百万円 2023年3月期 11,362百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	399	736	223	4,218
2023年3月期	1,312	845	254	4,493

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期		0.00		13.00	13.00	81		0.7
2024年3月期		0.00		13.00	13.00	81	37.0	0.7
2025年3月期(予想)		0.00		17.00	17.00		23.8	

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,400	13.7	840	55.4	610	58.0	450	103.1	71.38

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期	6,353,454 株	2023年3月期	6,353,454 株
期末自己株式数	2024年3月期	49,210 株	2023年3月期	48,722 株
期中平均株式数	2024年3月期	6,304,560 株	2023年3月期	6,305,112 株

(参考) 個別業績の概要

2024年3月期の個別業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	19,827	11.1	273		140		140	
2023年3月期	22,307	7.1	525		403		443	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	22.23	
2023年3月期	70.30	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
2024年3月期	30,270		9,721		32.1	1,542.02		
2023年3月期	31,245		9,942		31.8	1,577.01		

(参考) 自己資本 2024年3月期 9,721百万円 2023年3月期 9,942百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は2024年5月14日に当社ホームページに掲載いたします

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(連結の範囲の重要な変更) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(1株当たり情報) .....	11
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における経済は、新型コロナウイルス5類への移行に伴い経済活動も回復基調となる一方、円安・ウクライナ問題・米中関係悪化や原材料価格高騰・電力料等の高騰などにより先行き不透明な状態が続いております。

このような情勢の中、当社グループは受注確保に向け国内、北米、アセアン地域への拡販を図るとともに、生産効率化や原価低減などの推進に取り組んでまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は、工作機械関連事業が減少するも、部品加工関連事業の旺盛な需要に支えられ、24,091百万円（前期比2.9%減）となりました。

損益につきましても、各種施策の効果もあり、営業利益は540百万円（前期比580.7%増）、経常利益は386百万円（前期は経常損失39百万円）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は221百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純損失104百万円）となりました。

工作機械関連事業におきましては、昨年同様、特に自動車業界におけるEV化が進む中、エンジン関連の設備投資が落ち込んでいる状況下において、昨年から取り組んでまいりました商社との関係強化や国内外の展示会への積極的な参加等による新たな市場開拓への営業活動を行ってきました。当連結会計年度の売上高は、中国市場が依然低迷する一方、国内サービス体制の拡充、北米、アセアン現法への営業強化により、11,714百万円（前期比11.1%減）となりました。損益面におきましては、サービス体制強化などの施策により改善を図った結果により営業損失は98百万円（前期は営業損失332百万円）となりました。

部品加工関連事業におきましては、国内において二輪、船外機関連に引き続き、四輪関係のEV関連部品増産や新規部品生産立ち上げに対応してきた結果、売上高は12,306百万円（前期比6.4%増）となりました。損益面におきましては、電力料などの価格転嫁の推進、IoTを活用した生産性向上活動などによる効率向上と費用削減への取組みにより、営業利益は590百万円（前期比63.0%増）となりました。

その他事業の部門におきましては、不動産賃貸事業により、売上高は70百万円（前期と同額）となり、セグメント利益（営業利益）は49百万円（前期比1.4%減）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ966百万円減少し33,202百万円（前期末比2.8%減）となりました。このうち流動資産は1,300百万円減少し18,142百万円（前期末比6.7%減）となり、固定資産は314百万円増加し14,999百万円（前期末比2.1%増）となりました。流動資産の減少の主な要因は、仕掛品が556百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が1,336百万円、商品及び製品が642百万円減少したことによります。固定資産の増加の主な要因は、有形固定資産が505百万円増加したことによります。

当連結会計年度末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて1,412百万円減少し21,393百万円（前期末比6.2%減）となりました。このうち流動負債は3,960百万円減少し10,951百万円（前期末比26.6%減）となり、固定負債は2,548百万円増加し10,441百万円（前期末比32.3%増）となりました。流動負債の減少の主な要因は、短期借入金が3,089百万円減少したことによります。固定負債の増加の主な要因は、長期借入金が2,350百万円増加したことによります。

当連結会計年度末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて445百万円増加し11,808百万円（前期末比3.9%増）となりました。増加の主な要因は親会社株主に帰属する当期純利益221百万円を計上し、為替換算調整勘定が205百万円増加したことによるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

営業活動の結果獲得した資金は399百万円（前年同期は1,312百万円の使用）となりました。これは主として減少要因である仕入債務の減少額946百万円、棚卸資産の増加額870百万円を、減価償却費1,277百万円及び売上債権の減少額1,236百万円等が上回ったことによります。

投資活動の結果使用した資金は736百万円（前期比12.9%減）となりました。これは主として有形固定資産の取得によるものです。

財務活動の結果使用した資金は223百万円（前期比12.3%減）となりました。これは主として借入れによる収入を借入金の返済による支出が上回ったことによります。

これらの結果、当連結会計年度末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて274百万円減少し4,218百万円（前期末比6.1%減）となりました。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
自己資本比率(%)	27.4	30.3	31.5	33.3	35.6
時価ベースの自己資本比率(%)	16.0	18.7	13.3	12.5	13.0
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	4.4	13.2	5.1	△8.7	28.6
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	14.7	3.9	12.5	△7.8	2.8

自己資本比率：自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー/利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

## (4) 今後の見通し

工作機械関連事業におきましては、自動車業界のEV化に伴う外部環境変化の中で受注拡大に向け取り組んでまいります。汎用機に関しては今後見込まれる地域への営業人員補強、システム事業についてはEV量産化へ向けた情報収集、既存のエンジン市場においては既存設備の保守や改造需要の取り込みに向けた営業活動を続けております。昨年10月にはドイツの工作機械メーカーでSW社との協業を開始し、今年4月にはアメリカ溶接業界の最大手であるリンカーン・エレクトリック社との協業を決定し、国内EV部品加工用設備のシェア拡大を進めてまいります。

部品加工関連事業におきましては、長期的には既存主力製品である大型二輪車用部品及び自動車関連部品の仕事量が減少する見通しとなっている中、工作機械事業を持つ強みを生かした受注の拡大と製造や技術部門を主体としたロス改善による原価低減、原価高騰に対する価格転嫁も進め、利益率改善に繋げてまいります。また、自動化、省人化を積極的に進めることで労働人口減少という社会課題の解決に繋がるモノ作りを提案していきます。

次期の業績見通しにつきましては、売上高は27,400百万円、営業利益は840百万円、経常利益は610百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は450百万円を見込んでおります。

なお、当社グループは、工作機械関連事業の売上計上時期が顧客都合等により年度内で流動的になることから、業績予想につきましては通期のみの公表とさせていただきます。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,588	4,399
受取手形及び売掛金	4,685	3,348
電子記録債権	1,217	1,502
商品及び製品	3,233	2,590
仕掛品	3,182	3,738
原材料及び貯蔵品	2,093	2,362
その他	448	208
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	19,442	18,142
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,544	2,608
機械装置及び運搬具（純額）	2,989	3,495
土地	7,392	7,392
リース資産（純額）	332	306
建設仮勘定	241	243
その他（純額）	738	699
有形固定資産合計	14,239	14,745
無形固定資産		
リース資産	34	21
その他	68	54
無形固定資産合計	103	76
投資その他の資産		
投資有価証券	115	14
繰延税金資産	79	85
その他	158	79
貸倒引当金	△11	△2
投資その他の資産合計	341	177
固定資産合計	14,684	14,999
繰延資産	41	60
資産合計	34,168	33,202

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,732	1,344
電子記録債務	2,125	1,747
1年内償還予定の社債	520	800
短期借入金	7,924	4,835
リース債務	57	54
未払法人税等	84	81
契約負債	846	322
賞与引当金	430	436
関係会社清算損失引当金	13	10
その他	1,178	1,319
流動負債合計	14,912	10,951
固定負債		
社債	1,580	2,040
長期借入金	1,415	3,765
リース債務	342	303
繰延税金負債	197	213
再評価に係る繰延税金負債	1,563	1,563
退職給付に係る負債	2,613	2,392
資産除去債務	40	40
その他	140	122
固定負債合計	7,893	10,441
負債合計	22,805	21,393
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,640	4,640
利益剰余金	2,652	2,789
自己株式	△70	△71
株主資本合計	7,222	7,359
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2	3
土地再評価差額金	3,666	3,666
為替換算調整勘定	901	1,106
退職給付に係る調整累計額	△429	△327
その他の包括利益累計額合計	4,140	4,449
純資産合計	11,362	11,808
負債純資産合計	34,168	33,202

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	24,813	24,091
売上原価	21,243	20,094
売上総利益	3,569	3,996
販売費及び一般管理費	3,490	3,456
営業利益	79	540
営業外収益		
受取利息	37	37
受取配当金	0	0
受取賃貸料	7	6
受取クレーム補償金	8	8
スクラップ売却益	13	5
その他	55	34
営業外収益合計	121	93
営業外費用		
支払利息	168	141
社債利息	4	10
為替差損	26	25
シンジケートローン手数料	—	39
その他	40	31
営業外費用合計	241	248
経常利益又は経常損失(△)	△39	386
特別利益		
固定資産売却益	1	1
投資有価証券売却益	3	15
退職給付制度移行益	144	—
特別利益合計	148	17
特別損失		
固定資産廃棄損	1	3
関係会社清算損失引当金繰入額	1	—
特別損失合計	2	3
税金等調整前当期純利益	106	400
法人税、住民税及び事業税	270	163
法人税等調整額	△59	15
法人税等合計	210	178
当期純利益又は当期純損失(△)	△104	221
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△104	221

## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	△104	221
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	1
為替換算調整勘定	425	213
退職給付に係る調整額	418	102
その他の包括利益合計	844	316
包括利益	739	538
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	739	538
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				その他の包括利益累計額					純資産合計
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	4,640	2,839	△70	7,409	2	3,666	475	△848	3,295	10,705
当期変動額										
剰余金の配当		△81		△81						△81
親会社株主に帰属する当期純損失(△)		△104		△104						△104
自己株式の取得			△0	△0						△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					0	—	425	418	844	844
当期変動額合計	—	△186	△0	△187	0	—	425	418	844	657
当期末残高	4,640	2,652	△70	7,222	2	3,666	901	△429	4,140	11,362

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				その他の包括利益累計額					純資産合計
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	4,640	2,652	△70	7,222	2	3,666	901	△429	4,140	11,362
当期変動額										
剰余金の配当		△81		△81						△81
親会社株主に帰属する当期純利益		221		221						221
連結範囲の変動		△2		△2						△2
自己株式の取得			△0	△0						△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					1	—	205	102	308	308
当期変動額合計	—	137	△0	136	1	—	205	102	308	445
当期末残高	4,640	2,789	△71	7,359	3	3,666	1,106	△327	4,449	11,808

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	106	400
減価償却費	1,186	1,277
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△214	△120
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△20	6
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△9
受取利息及び受取配当金	△37	△38
支払利息及び社債利息	173	152
為替差損益 (△は益)	△50	△57
有形固定資産廃棄損	1	3
売上債権の増減額 (△は増加)	54	1,236
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,361	△870
仕入債務の増減額 (△は減少)	△269	△946
未収消費税等の増減額 (△は増加)	227	228
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△1	74
契約負債の増減額 (△は減少)	259	△553
未払金の増減額 (△は減少)	△84	△41
その他	160	△103
小計	△871	638
利息及び配当金の受取額	37	38
利息の支払額	△176	△152
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△302	△125
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,312	399
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△700	△655
子会社株式の取得による支出	△100	—
無形固定資産の取得による支出	△22	△16
定期預金の預入による支出	△28	△141
定期預金の払戻による収入	—	58
その他	4	18
投資活動によるキャッシュ・フロー	△845	△736
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	3,585	800
短期借入金の返済による支出	△937	△3,767
長期借入れによる収入	1,216	3,400
長期借入金の返済による支出	△4,899	△1,172
社債の発行による収入	1,367	1,367
社債の償還による支出	△380	△660
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△81	△81
その他	△124	△108
財務活動によるキャッシュ・フロー	△254	△223
現金及び現金同等物に係る換算差額	305	177
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,106	△383
現金及び現金同等物の期首残高	6,599	4,493
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	108
現金及び現金同等物の期末残高	4,493	4,218

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間より、ENSHU INDIA PRIVATE LIMITED及びエンシュウコネクティッド株式会社について、重要性が増したため連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は事業部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「工作機械関連事業」及び「部品加工関連事業」の2つを報告セグメントとしております。

「工作機械関連事業」はフレキシブルトランスファーマシン&ライン、各種専用機、マシニングセンタ及び半導体レーザー加工機等の製造販売をしております。「部品加工関連事業」は、二輪車用エンジン等の輸送機器部品の製造販売をしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	工作機械 関連事業	部品加工 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	13,177	11,565	24,742	70	24,813	—	24,813
セグメント間の内部 売上高又は振替高	158	—	158	—	158	△158	—
計	13,335	11,565	24,900	70	24,971	△158	24,813
セグメント利益又は損失(△)	△332	362	29	50	79	—	79
セグメント資産	18,813	9,878	28,691	1,742	30,433	3,735	34,168
その他の項目							
減価償却費	349	840	1,190	9	1,199	△12	1,186
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	622	755	1,377	5	1,383	—	1,383

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2 調整額は以下のとおりであります。

セグメント資産の調整額3,735百万円には各報告セグメントに配分していない全社資産が含まれております。

全社資産は主に余資投資資金（現金及び預金・投資有価証券）及び管理部門に係る資産等であります。

3 セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	工作機械 関連事業	部品加工 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,714	12,306	24,020	70	24,091	—	24,091
セグメント間の内部 売上高又は振替高	821	—	821	—	821	△821	—
計	12,535	12,306	24,841	70	24,912	△821	24,091
セグメント利益又は損失(△)	△98	590	491	49	540	—	540
セグメント資産	18,428	10,189	28,617	1,738	30,356	2,845	33,202
その他の項目							
減価償却費	404	875	1,280	9	1,289	△12	1,277
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	346	1,349	1,696	6	1,702	—	1,702

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2 調整額は以下のとおりであります。

セグメント資産の調整額2,845百万円には各報告セグメントに配分していない全社資産が含まれております。

全社資産は主に余資投資資金(現金及び預金・投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。

3 セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	1,802.26円	1,873.08円
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	△16.60円	35.14円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株 主に帰属する当期純損失(△)(百万円)	△104	221
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利 益又は親会社株主に帰属する当期純損失 (△)(百万円)	△104	221
普通株式の期中平均株式数(株)	6,305,112	6,304,560

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。